

カドミ汚染 - 12 品目 国際基準案超過 -



The Knights

国内で生産された穀類や野菜など農水産物 12 品目から、食品の国際規格を決める国際機関「コーデックス委員会」で検討中の安全基準案を超える濃度のカドミウムが検出されていたことが 12 月 2 日、農水省の調査で分かった。国内ではカドミ濃度の安全基準があるのはコメだけで、他の農水産物ではカドミ汚染を恒常的にチェックする体制はないとのこと。

オクラでは最高で基準案の 4 倍を超える 0.22ppm、大豆は 3 倍超えの 0.66ppm が検出された。調査対象での最高濃度はスルメイカの 1.3ppm だった。

日本は鉱山などからの汚水が流れ込んだカドミ汚染地が各地にあり、WHOの資料では、人の腎臓に蓄積しているカドミ濃度が世界一高い。

農水省は「検出されたカドミウムは直ちに健康に影響がある濃度ではない。国際的な基準の検討状況を踏まえながら今後の対応を検討したい」とのこと。

カドミウム濃度が国際安全基準案を超えた国産農水産物

品目	超過割合(%)	基準案(ppm)
オクラ	25.0	0.05
大豆	16.7	0.2
サトイモ	11.1	0.1
ナス	7.6	0.05
ゴボウ	5.7	0.1
ニンジン	1.5	0.1
コメ*	3.3	0.2
小麦	3.1	0.2
ハウレンソウ	3.0	0.2
ヤマイモ類	1.5	0.1
豚肉	1.7	0.05
スルメイカ	5.4	1.0

*は、1999 年発表のデータ

資料: 2002.12.3 毎日新聞

衛生検査課 小林 正幸

事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 3 水道法第 20 条に基づく水質検査
- 4 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 5 製品開発・品質管理に伴う化学分析
- 6 トータルサニテーション管理
- 7 微生物に関する試験・調査
- 8 依託試験・研究・開発

